

介護人材確保対策に係る調査結果報告書

令和3年9月

長門市 高齢福祉課 介護支援班

第 1 部 調査の概要

1 調査の目的

第8次長門市高齢者健康福祉計画で目標としている介護人材確保のための協議会を設置するにあたり、ICT活用や介護ロボットの導入を含め、介護サービス事業所の現況を把握し、関係機関が一体となり、有効な人材確保対策について計画的に推進していくための基礎資料とするため。

2 調査の対象

長門市内の介護サービスを提供している事業所

3 調査の方法

電子メールによる配布、電子メール・FAX・郵送による回収

4 調査の期間

令和3年8月6日（金）から令和3年9月15日（水）まで

5 回収結果

発送数 68 通、有効回収数 50 通、有効回収率 73.5%

6 報告書の見方

- (1) 回答は、各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示しています。小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 複数回答を許した質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることになります。
- (3) 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記しています。
- (4) 図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合があります。

第 2 部 調 査 の 結 果

【問 1】 貴事業所（以下、「施設」を含む。）が実施しているサービスはどれですか。

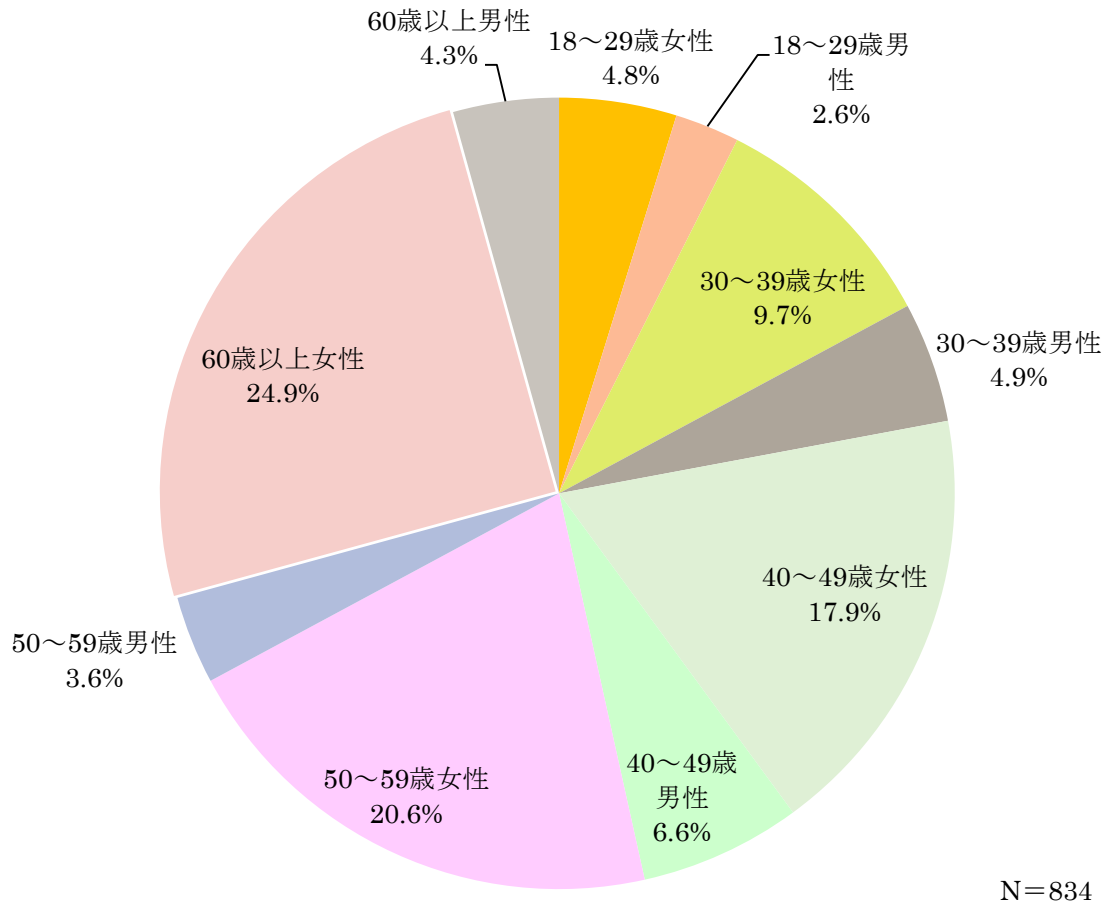
事業所種別	提出事業所数
訪問介護	5
訪問看護	2
訪問リハビリテーション	3
通所介護	6
居宅介護支援	12
地域密着型通所介護(認知症対応型を含む)	4
通所リハビリテーション	1
認知症対応型共同生活介護	5
小規模多機能型居宅介護	1
介護老人福祉施設	7
介護老人保健施設	2
介護医療院、特定施設入居者生活介護	2
合 計	50

【問 2】 令和 3 年 4 月 1 日現在における貴事業所の従業員の雇用状況についてご記入ください。

職種別・性別・年齢別職員数（全事業所）※常勤・非常勤を問わない 単位：人

	介護職員	介護アシスタント	看護師・准看護師	理学療法士	作業療法士	栄養士	調理師	相談員	介護支援専門員	事務員	その他	合計	割合
18～29 歳女性	27	1	3	1	0	0	5	1	0	1	1	40	4.8%
18～29 歳男性	16	0	0	5	0	0	0	0	0	0	1	22	2.6%
30～39 歳女性	55	0	8	2	2	6	3	2	2	1	0	81	9.7%
30～39 歳男性	19	1	3	8	2	0	1	3	0	3	1	41	4.9%
40～49 歳女性	99	0	19	2	1	1	2	5	13	6	1	149	17.9%
40～49 歳男性	29	0	3	2	1	0	1	7	9	2	1	55	6.6%
50～59 歳女性	94	2	30	2	0	3	16	6	12	3	4	172	20.6%
50～59 歳男性	12	0	2	3	0	0	0	6	2	3	2	30	3.6%
60 歳以上女性	97	19	36	0	0	0	19	1	26	5	5	208	24.9%
60 歳以上男性	6	1	1	0	0	0	0	1	2	7	18	36	4.3%
合 計	454	24	105	25	6	10	47	32	66	31	34	834	100.0%

介護職員年齢比率（全サービス）



市内介護サービス事業所の職員数は職種別にみると介護職員が最も多い。

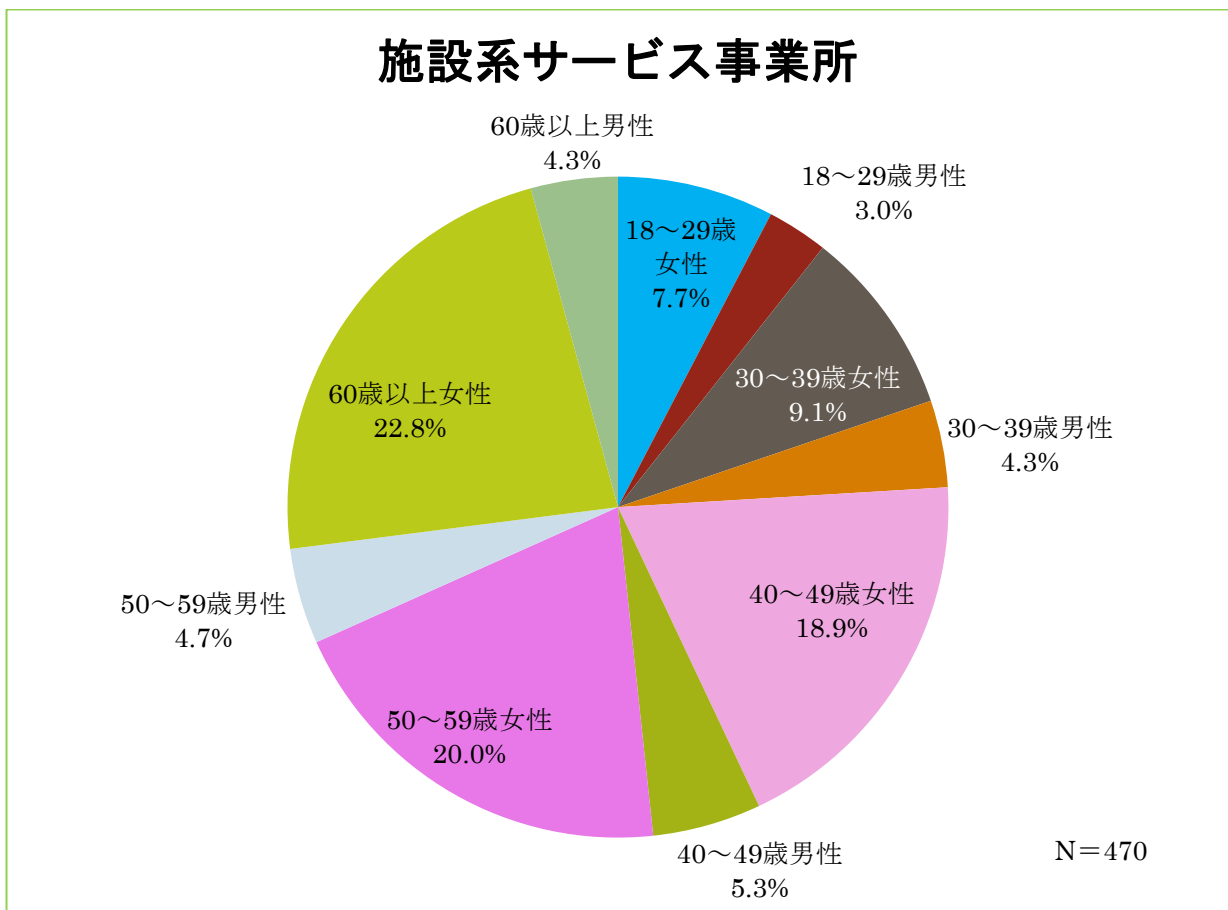
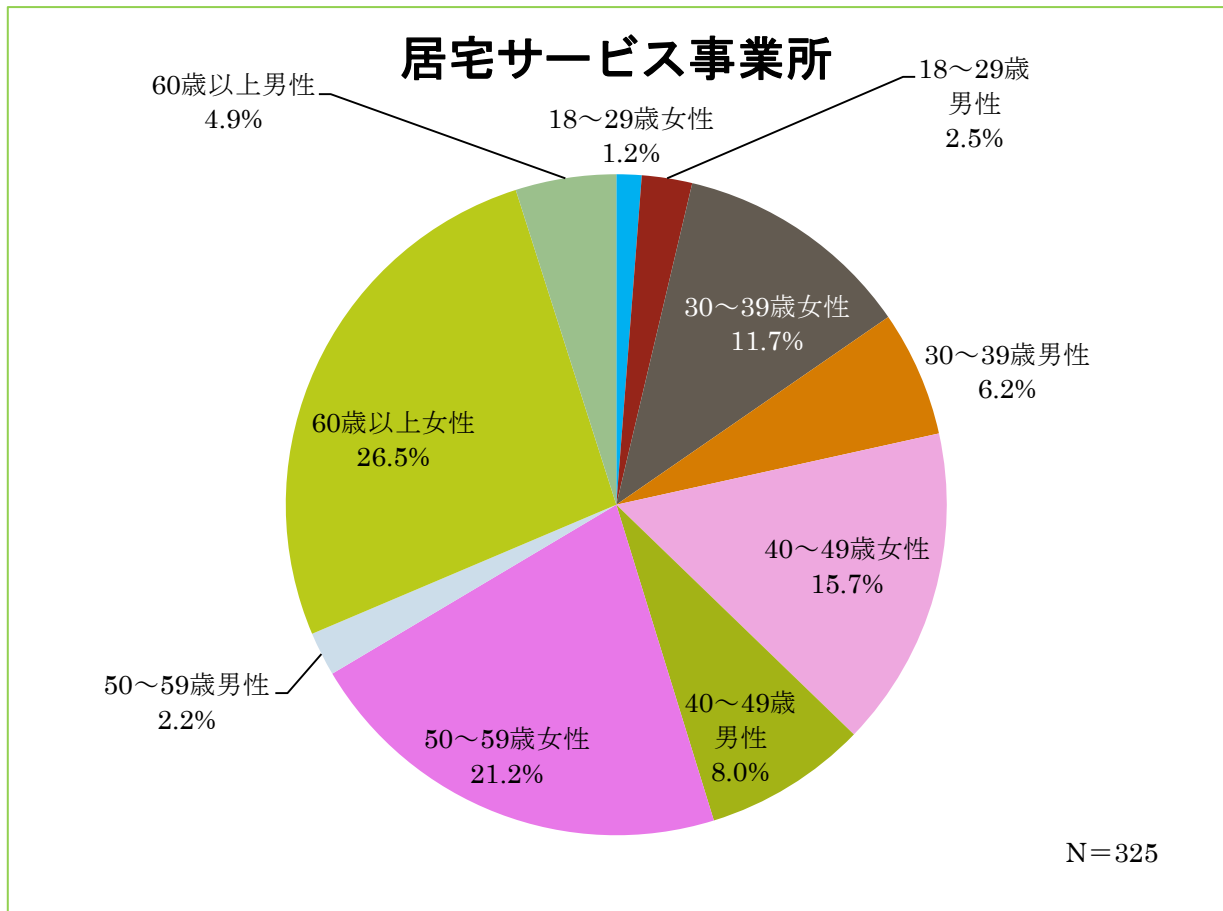
職員の年齢は、60歳以上の女性の割合が24.9%と最も高く、次いで50～59歳女性が20.6%と高い。

また、男性と女性の割合は男性22%、女性78%と、女性が圧倒的に多い。また、50歳以上の女性が全体に占める割合は45.5%とほぼ半数を占めている。

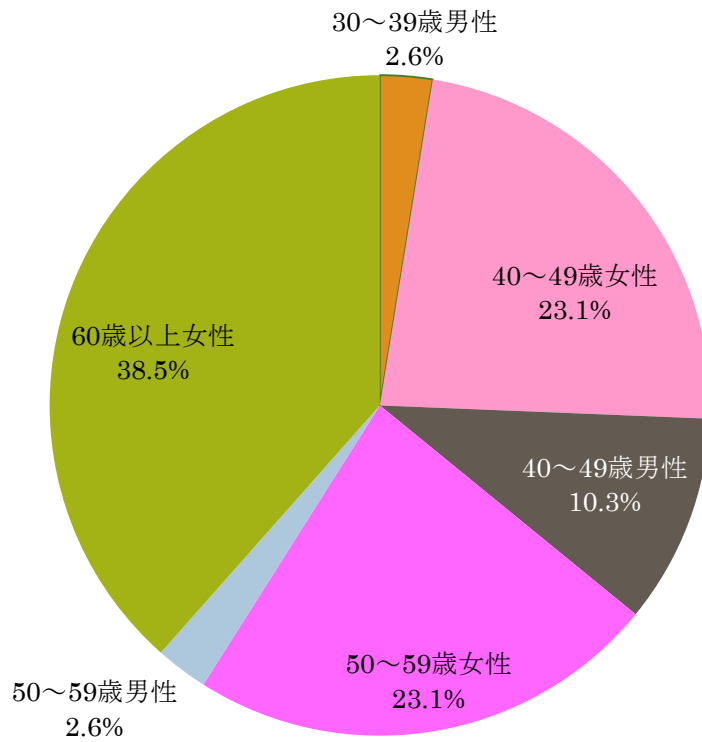
介護サービス別の年齢比率は、どの職種も18～29歳の職員の比率が極端に低く、50歳以上の女性の比率が高い傾向にある。特に、居宅介護支援事業所では60歳以上の女性が38.5%を占めている。

市内の介護事業所では職員の高齢化が顕著であり、将来的に人材不足が見込まれる危機的状況であるといえる。

性別・年齢別比率（職種別）

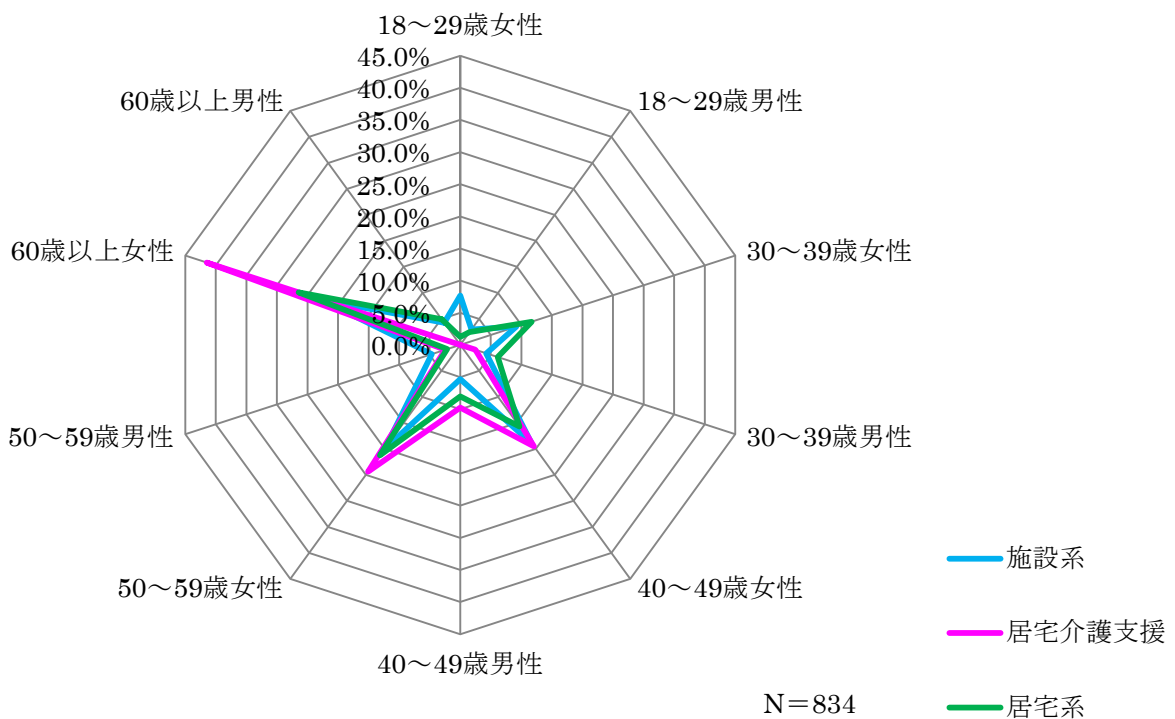


居宅介護支援事業所



N=39

サービス事業所別職員年齢分布



N=834

【問3】 従業員の採用や確保にあたり実施していることや今後取組みを検討していることは何ですか。(複数回答可)

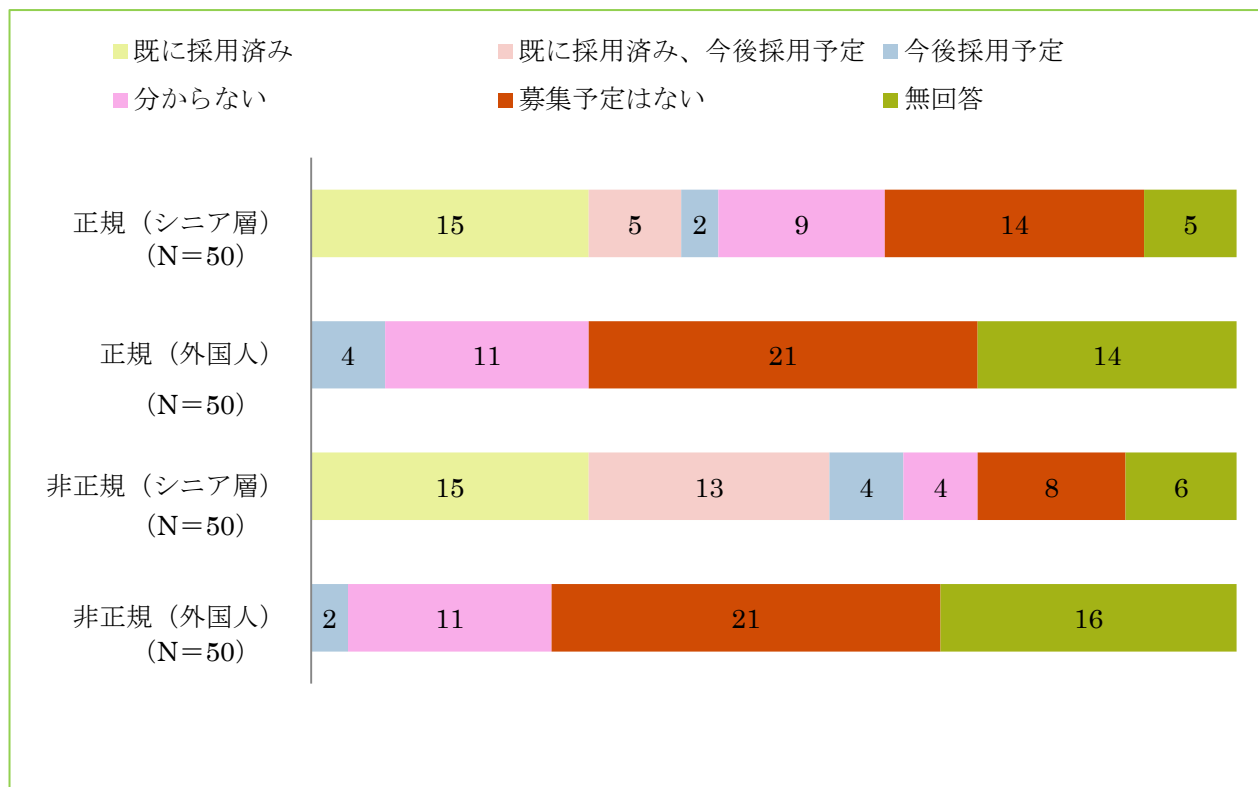


【その他の内容】

- ・ 法人広報紙で求人募集する
- ・ 山口県福祉人材センターに登録
- ・ 福祉の仕事相談会への参加
- ・ 院内リハビリからの移動

従業員の採用や確保の取組みとしては、「ハローワークを活用する」と回答した事業所が最も多かった。次いで「定年の延長や退職者をパートとして再雇用する」と「従業員の知人・友人等を紹介してもらう」が多い結果となった。どの事業所も多様な方法で人材確保に対する取組みを積極的に行っていることがわかる。

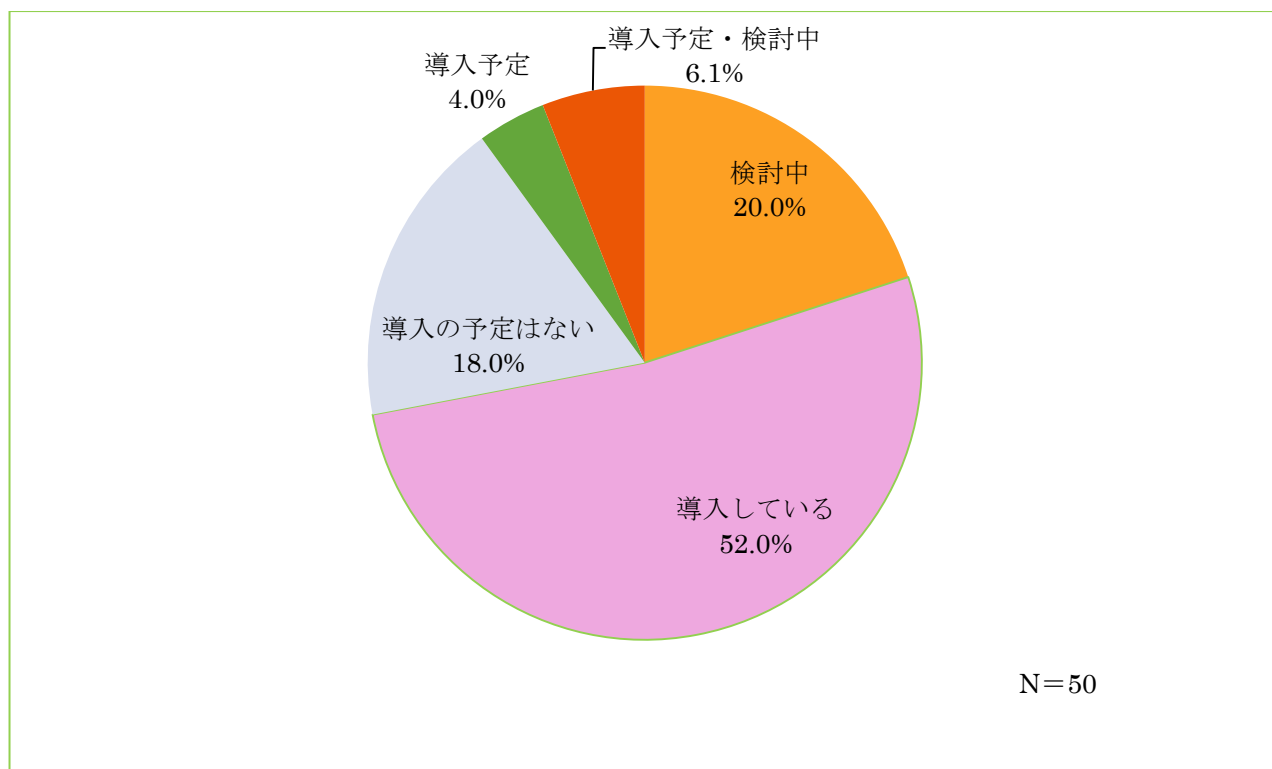
【問 4】 今後、外国人やシニア層の方など幅広い人材を活用する予定があるかお尋ねします。



シニア層人材については、既に採用済みの事業所も多く、シニア層人材のニーズは高い傾向にある。

外国人人材については、採用済みの事業所はないが、正規採用では4事業所、非正規採用では2事業所が今度採用する予定であると回答した。

【問5】 ICT・介護ロボットを導入して業務を行っていますか。(複数回答可)

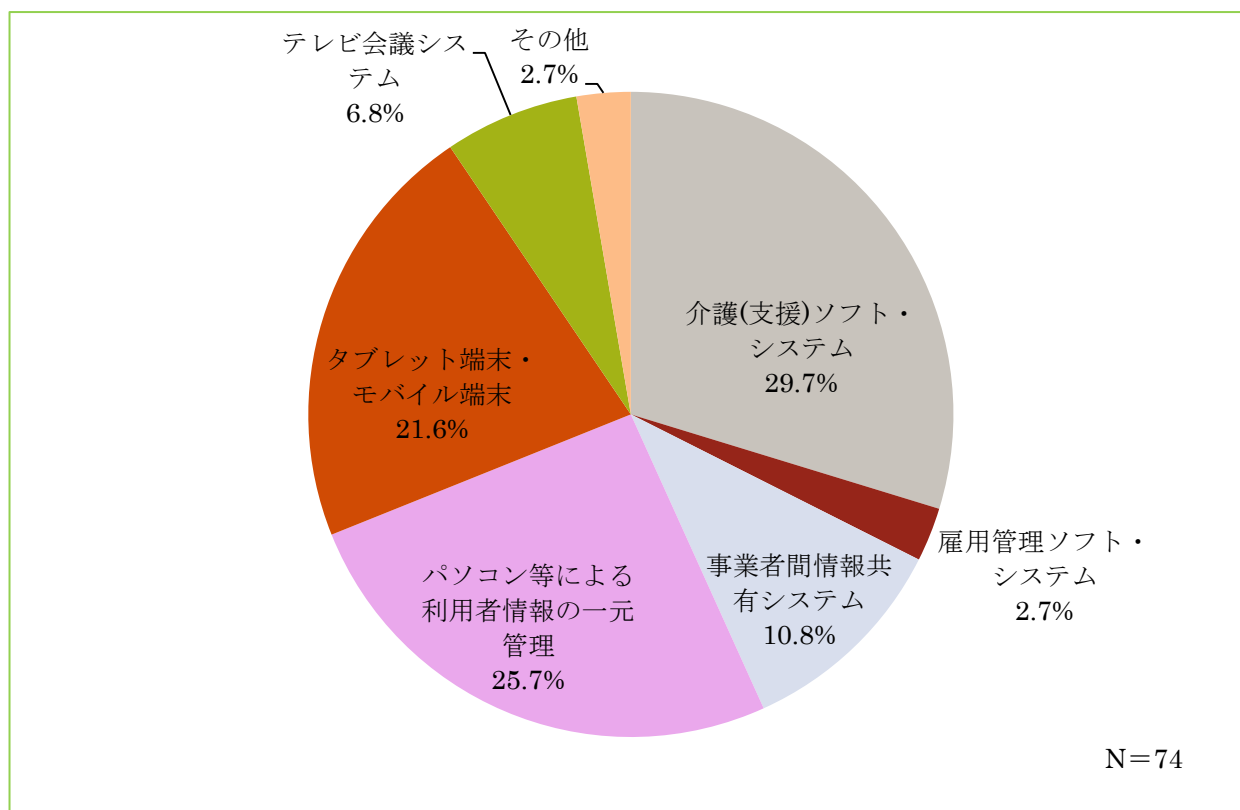


ICT・介護ロボット導入の有無（事業所種別ごと）

事業所種別	導入している	導入予定	導入予定・検討中	検討中	導入予定はない
訪問介護	2			1	2
訪問看護				1	1
訪問リハビリテーション	1			1	1
通所介護	3	1	1	1	
居宅介護支援	7		1	1	2
地域密着型通所介護 (認知症対応型を含む)	2			1	1
通所リハビリテーション				1	
認知症対応型共同生活介護	3			1	1
小規模多機能型居宅介護	1				
介護老人福祉施設	4	1	1	1	
介護老人保健施設	1			1	
介護医療院、 特定施設入居者生活介護	2				
合計	10	26	9	2	3

ICT・介護ロボットについては52%の事業所が既に導入している一方で、20%の事業所は導入予定がないと回答している。

【問6】 どのようなICTを導入(予定)されていますか。(複数回答可)



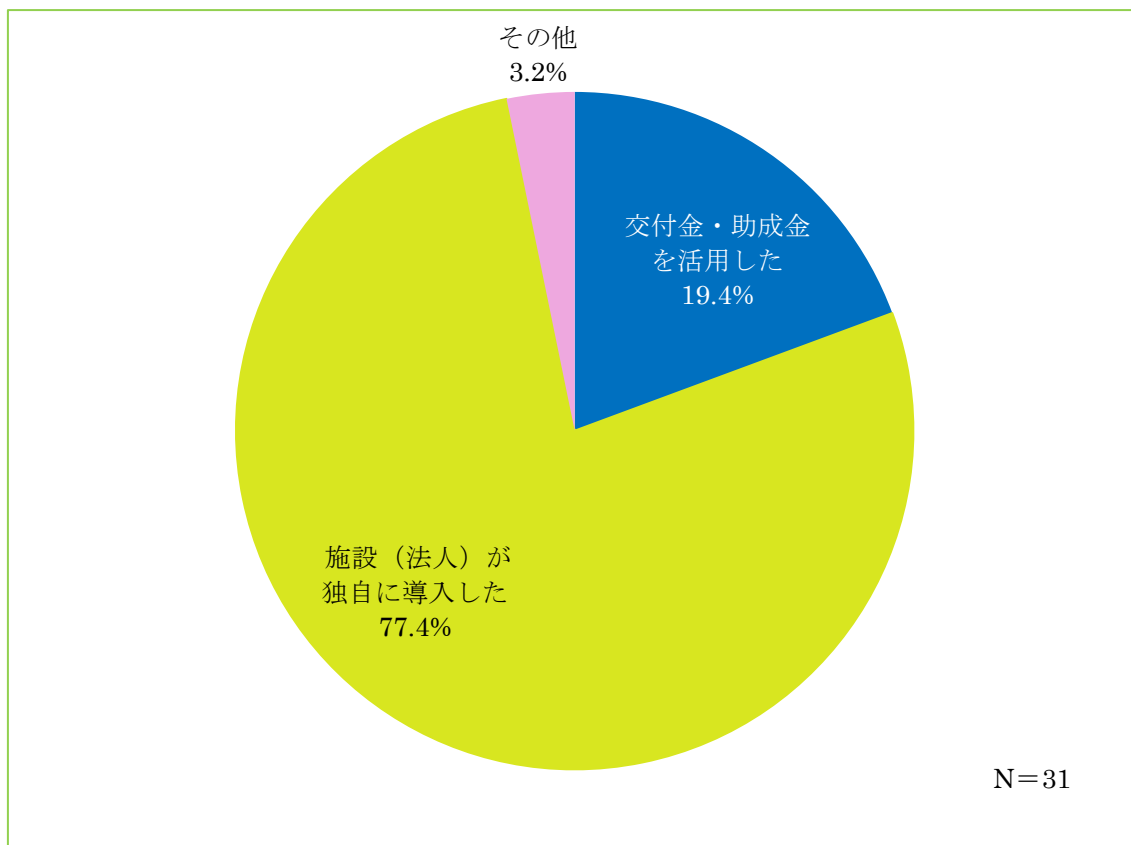
導入されているICT種類 (サービス事業所別)

事業所種別	介護支援ソフト・システム	雇用管理ソフト・システム	事業者間情報共有システム	利用者情報の一元管理	タブレット端末・モバイル端末	テレビ会議システム	その他
訪問介護	2		1	2			
訪問看護					1		
訪問リハビリテーション					1		
通所介護	5		1	2	4	2	
居宅介護支援	5		3	4	6	1	
地域密着型通所介護(認知症対応型を含む)	1			1			
通所リハビリテーション							
認知症対応型共同生活介護	1		1	3	1	1	
小規模多機能型居宅介護	1		1				
介護老人福祉施設	4		1	4	3		2
介護老人保健施設	1	1		1			
介護医療院、特定施設	2	1		2		1	
合計	22	2	8	19	16	5	2

「介護(支援)ソフト・システム」を導入している割合が29.7%と最も高く、次いで「パソコン等による利用者情報の一元管理」が25.7%と高かった。

【問 7】 ICTを導入された事業所のみ教えてください。

ICTを導入された費用について教えてください。（複数回答可）



【交付金・助成金を活用した交付金等名称】

- ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金 3 事業所
- ・令和3年度介護事業所 ICT 導入推進事業 1 事業所
- ・在宅サービス事業所における環境整備への助成事業 1 事業所
- ・IT 導入補助金（2018 年） 1 事業所

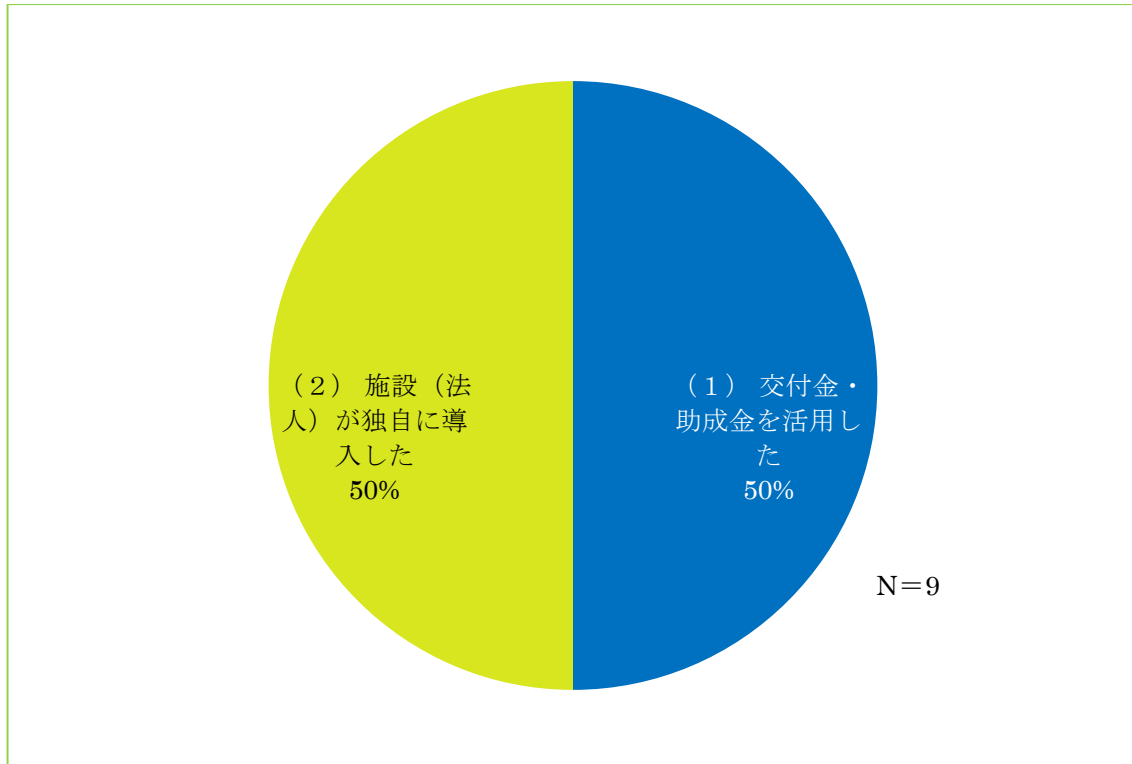
※その他

- ・地域での情報共有の効率化を考え、医師会発信で導入

ICTを導入した事業所の 77.4%が ICT を施設（法人）独自に購入しており、交付金・助成金を活用した事業所は 19.4%であった。

【問 8】 介護ロボットを導入された事業所のみ教えてください。

介護ロボットを導入された費用について教えてください。(複数回答可)

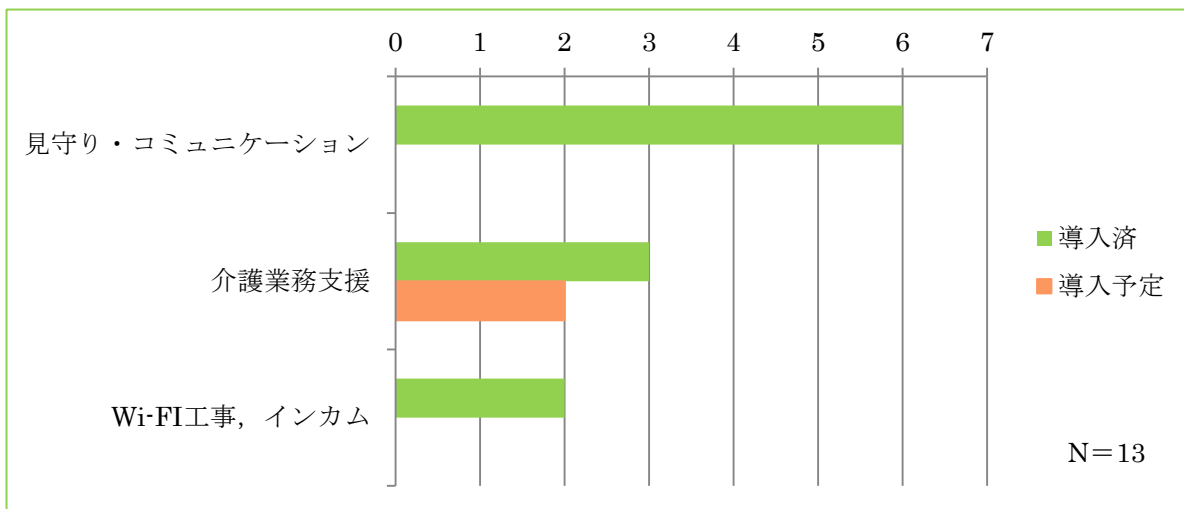


【交付金・助成金を活用した交付金等名称】

- ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金・・・ 3事業所

介護ロボットを導入した事業所について、「施設(法人)が独自に購入した」と回答した事業所と「交付金・助成金を活用した」と回答した事業所の割合は同じであった。

【問 9】 介護ロボットについて、導入(予定)の機器の状況を教えてください。



導入した介護ロボットの種類は、「見守り・コミュニケーション」が最多であった。

介護ロボットの導入状況

※サンプル数が少ないため参考として掲載する。

【見守り・コミュニケーション】

導入事業所 6 導入台数 49 台

効果	夜勤業務の負担軽減につながった	6 事業所
	日中業務の負担軽減につながった	3 事業所
	夜勤職員の精神的負担が軽減された	2 事業所
課題	導入コストが高い	3 事業所
	保守・メンテナンス体制が心配される	2 事業所
	利用者に対するサービスの低下が心配される	1 事業所

【介護業務支援】

導入事業所 3 導入予定事業所 2 導入台数 12 台

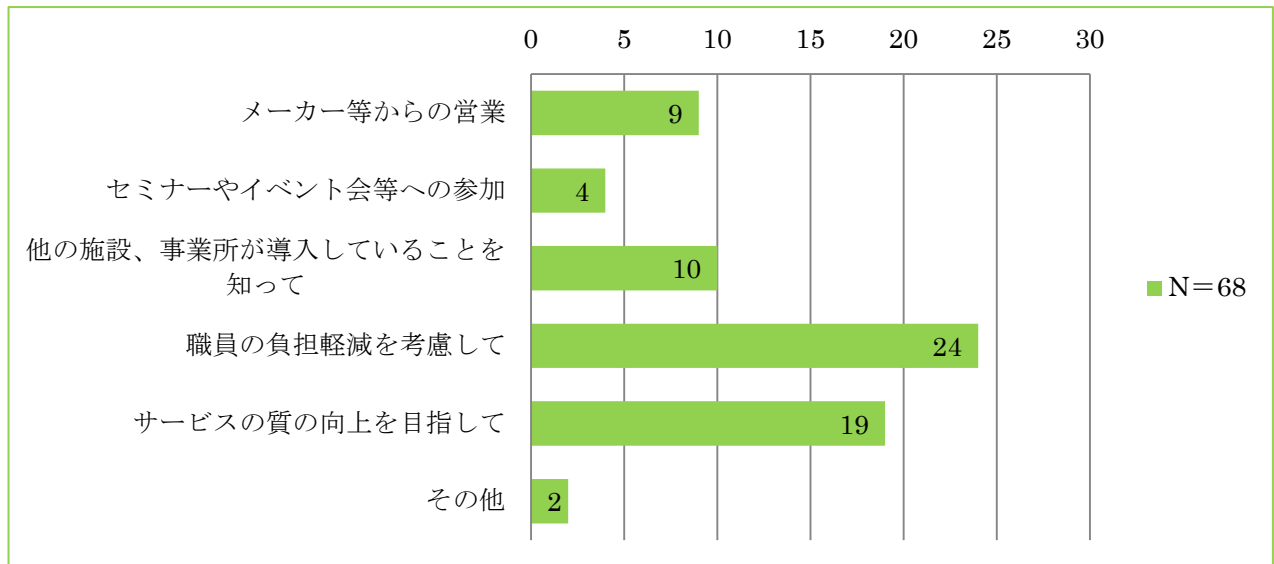
効果	作業時間の短縮につながった	2 事業所
	職場環境の改善につながった	2 事業所
課題	導入コストが高い	2 事業所
	保守・メンテナンス体制が心配される	2 事業所

【Wi-Fi 工事, インカム】

導入事業所 2

効果	夜勤業務の負担軽減につながった	1 事業所
	日中業務の負担軽減につながった	1 事業所
	職場環境の改善につながった	1 事業所
課題	導入コストが高い	1 事業所
	保守・メンテナンス体制が心配される	1 事業所

【問 10】 ICT・介護ロボットの導入（予定）のきっかけを教えてください。（複数回答可）

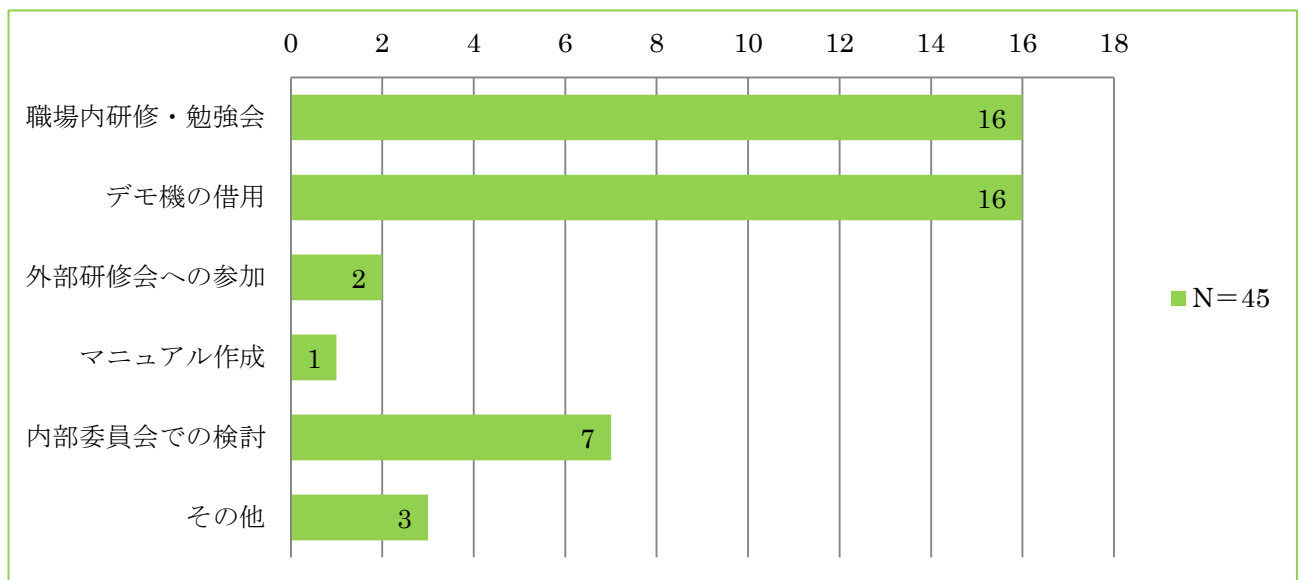


【その他の内訳】

- ・感染予防
- ・長門市の事業に参加

ICT・介護ロボットの導入のきっかけについては、「職員の負担軽減」と「サービスの質の向上」を目指して導入した事業所が多かった。

【問 11】 ICT・介護ロボットの導入（予定）にあたって、取り組んだことや工夫したことを教えてください。（複数回答可）

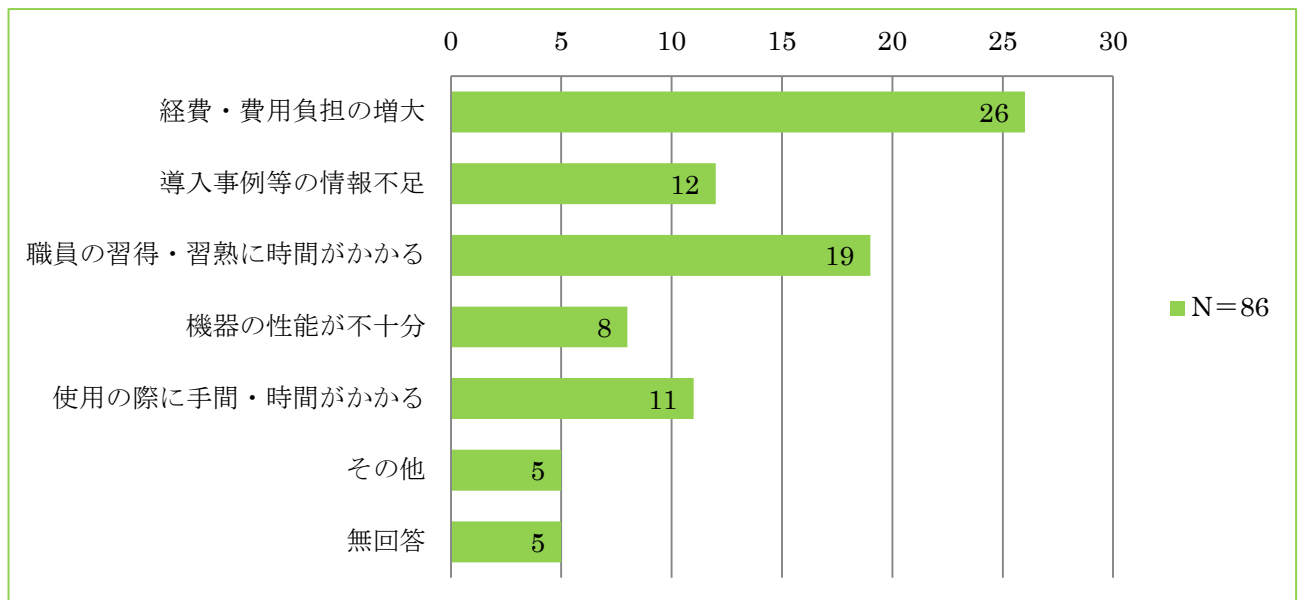


【その他の内訳】

- ・メーカーに依頼し説明会を開催

ICT・介護ロボットの導入にあたって、「職場内研修・勉強会」「デモ機の借用」をして取り組んだ事業所が多かった。

【問 12】 ICT・介護ロボットの活用にあたって課題があれば教えてください。(複数回答可)



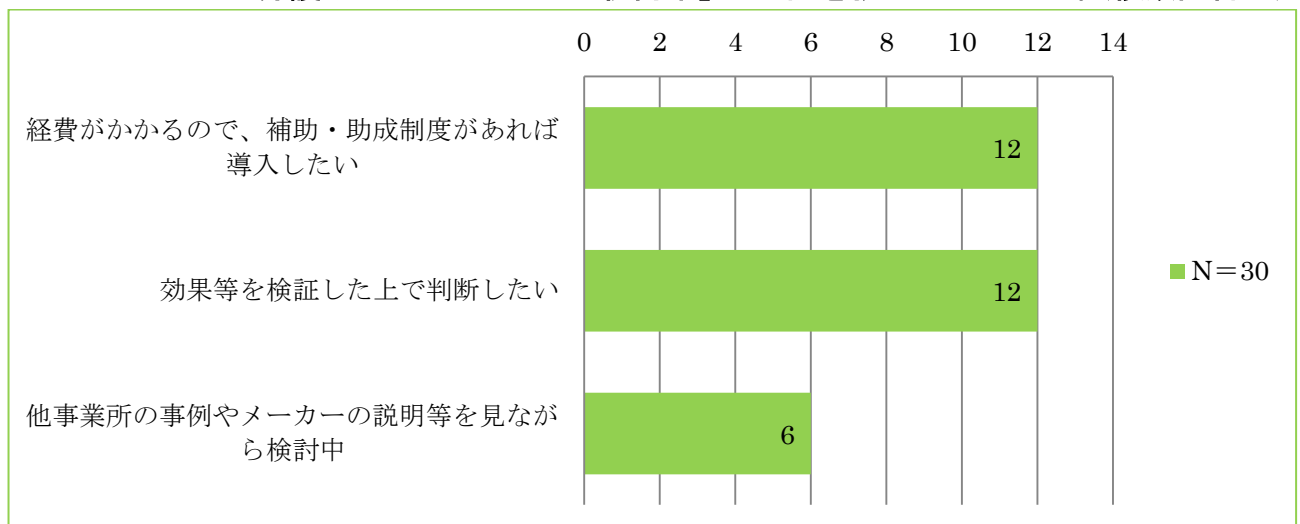
【その他の内訳】

- ・ 人員不足のため、導入の検討の時間が取れない
- ・ 中小企業ではPC等の活用は個人の資質による
- ・ 周囲のインフラが不十分

ICT・介護ロボットの活用にあたっては、「経費・費用負担の増大」が課題と考える事業所が最も多く、次いで「職員の習得・習熟に時間がかかる」と回答した事業所が多かった。「経費」と「手間」が導入の課題となっていることがわかる。

【問 13】 【問 5】で「検討中」に○をつけた方のみ答えてください。

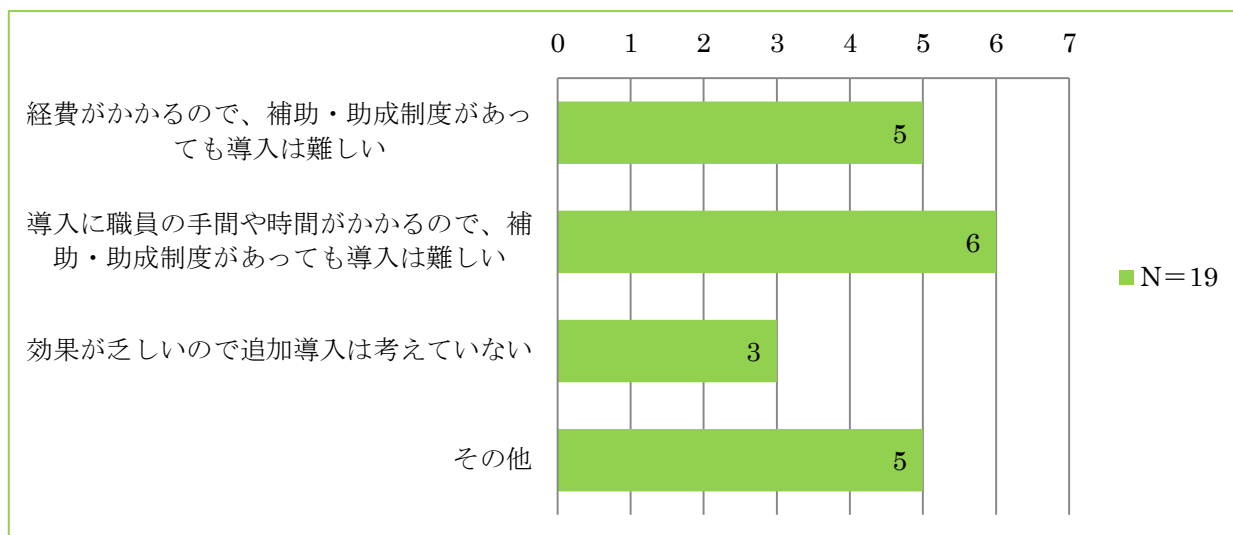
ICT・介護ロボットについて「検討中」の理由を教えてください。(複数回答可)



ICT・介護ロボットについて「検討中」とした理由については、「経費の補助・助成制度があれば導入したい」と「効果等を検証した上で判断したい」と回答した事業所が多かった。

【問 14】 【問 5】で「導入の予定はない」に○をつけた方のみ教えてください。

ICT・介護ロボットについて「導入予定はない」理由を教えてください。(複数回答可)

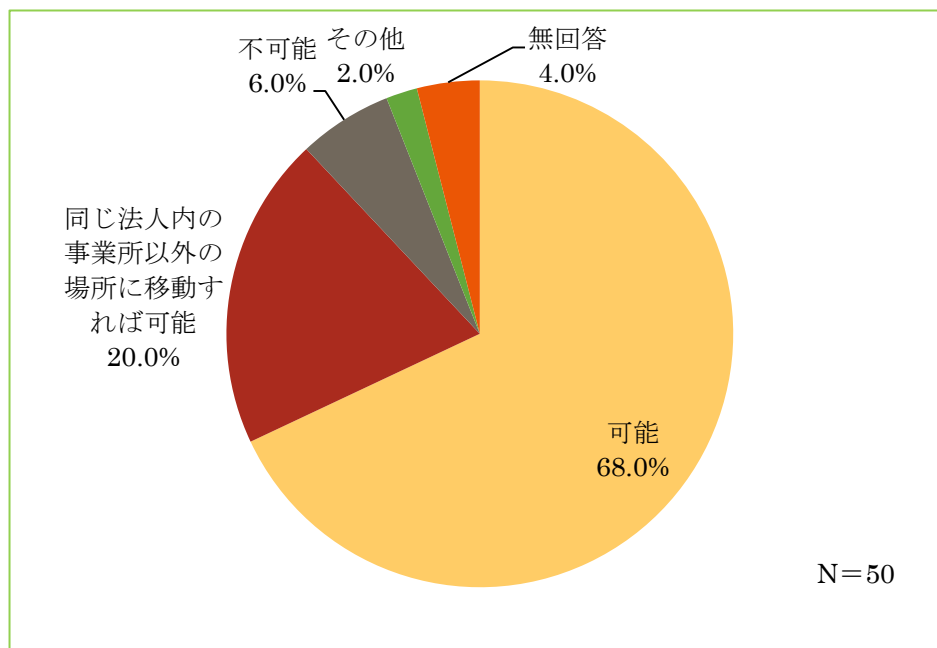


【その他の内訳】

- ・現状必要性を感じない
- ・高齢職員が多く機器に対する対応が困難

ICT・介護ロボットについて「導入予定はない」理由としては、「導入に職員の手間や時間がかかるので、補助・助成制度があっても導入は難しい」と回答した事業所が最も多かった。

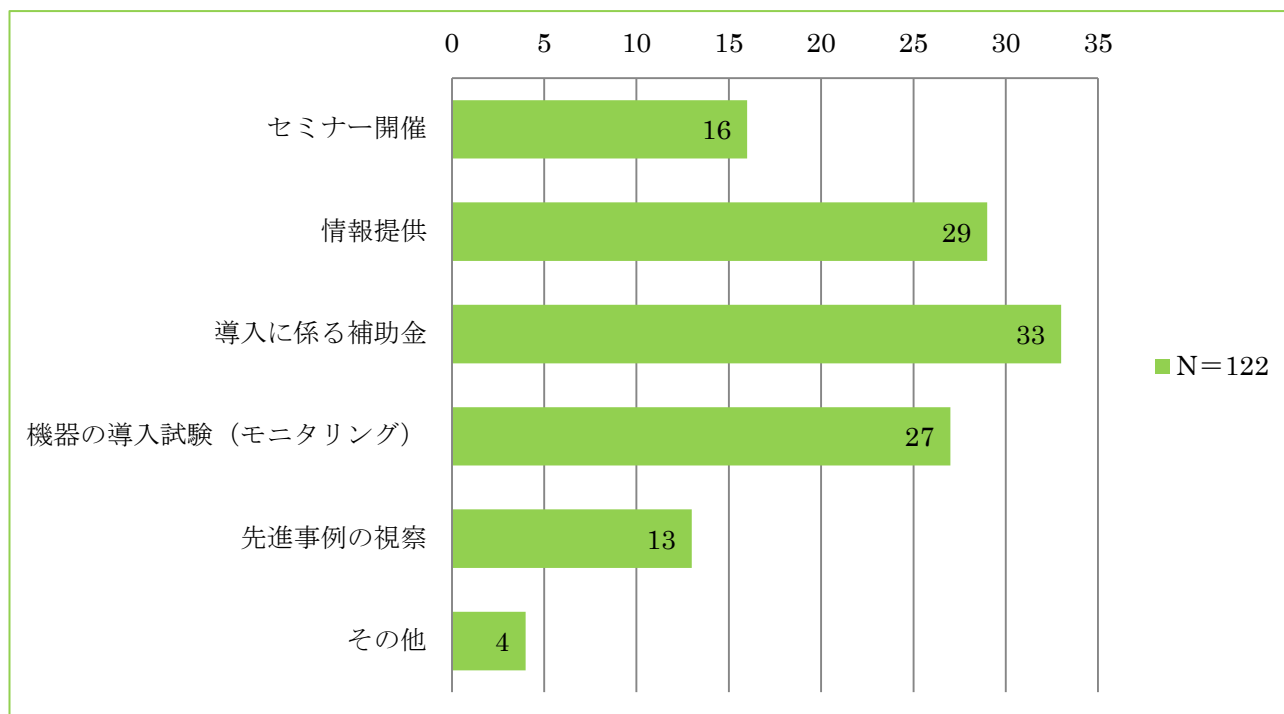
【問 15】 貴事業所においてweb会議に参加することは可能ですか。



「同じ法人内の事業所以外の場所に移動すれば可能」を含めると約9割の事業所がweb会議の参加が可能と回答した。

【問 16】 介護ロボット・ICTの導入において、行政へ求める支援を教えてください。

(複数回答可)



【その他の内訳】

- ・ 補助金の対象となるか否かの早い回答、又は、対象となる機器を多く示してもらいたい
- ・ 効果的な使用方法や実用例などわかれば導入後のイメージがわかりやすい

介護ロボット・ICTの導入において、行政へ求める支援については、「導入に係る補助金」と回答した事業所が最も多く、次いで「情報提供」であった。

【問 17】 国・県・市に期待する介護人材確保やICT・介護ロボット導入についての現状や意見、要望等があればご記入ください。

《人材確保について》

- ・ ケアマネ従事者が増えるよう、介護従事者のように処遇改善加算をつけてもらいたい。
- ・ 数年前からケアマネの募集をしていますが、1件も問い合わせが無い状態です。有資格者に声をかけるが、ケアマネはしたくないと言われます。更新研修の日程の長さ、改正の度に覚えることが多くなり、またケアマネが付いたら身元引受人と思っている方もおり、保険証等の再発行の手続きやコロナ対応等 ICT 導入で解決できない細々とした対応が多くなっています。
- ・ 介護職よりも給与が低いこともあり、介護職からケアマネに転職する方も少なくなっています。ICTを導入し若い世代の方が興味を持ってもらえたらと思いますが、現状の仕事内容と給与を比べたらケアマネを志す方は少なくなっていると思います。ICT導入で記録等の作業の効率は良くなると思いますが、併せてケアマネの処遇改善も考えていかなければ人材確保は困難と思います。
- ・ 総合事業の訪問型サービスを提供する人材の育成。(週1回程度の掃除や買物などの生活支援サービスができる人材の確保)
- ・ ヘルパーの人材が不足しています。施設では資格がなくても採用できますが、ホームヘルパーは資格を取ってからでないと雇用ができません。採用後の資格取得を考慮していただけると人材が増えるのではと・・・。
- ・ 教育は事業所で頑張ります。ホームヘルパー業務の核となるサービス提供責任者の精神的、身体的な負担軽減はやはり人材確保からかなと思います。
- ・ 地元に専門学校等がない為、新卒者は市外へ出て行き定着しない。

《ICT・介護ロボットの普及について》

- ・ どの世代、法人でも幅広く連携し活用しやすいICT・介護ロボットの普及に努めてほしい。
- ・ 見守りセンサー等の介護ロボットを導入しても介護職員の員数の削減には繋がっていないし繋がらないと思われる。
- ・ 情報をアップするだけでは、人手不足の事業所は見る時間や書類作成の時間が取れず申請すらできない。
- ・ 補助金の申請手続きや書類の簡略化。
- ・ 市内でのセミナーの開催。(福祉の仕事相談会の定期的な開催、介護ロボットや介護ソフトの紹介、補助金制度の説明)
- ・ 補助金申請の手続きや書類の簡略化。
- ・ 補助金で補填されても、高額な機器であるため、導入の失敗は許されない。また、導入後もメンテナンスが続くため、コストは嵩む。
- ・ 買戻し条件付きの試用期間があれば検討しやすい。

《その他》

- ・ コロナ禍で収入が厳しい状況です。長門市独自の助成金制度を希望します。